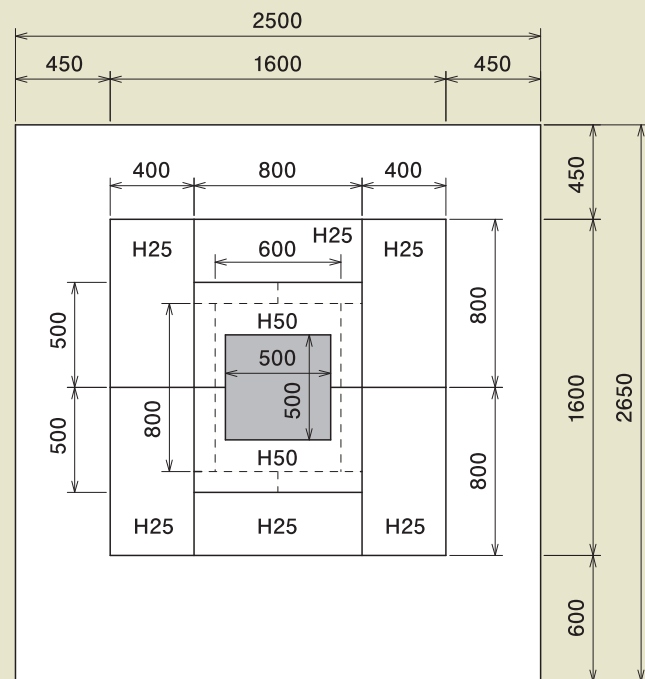
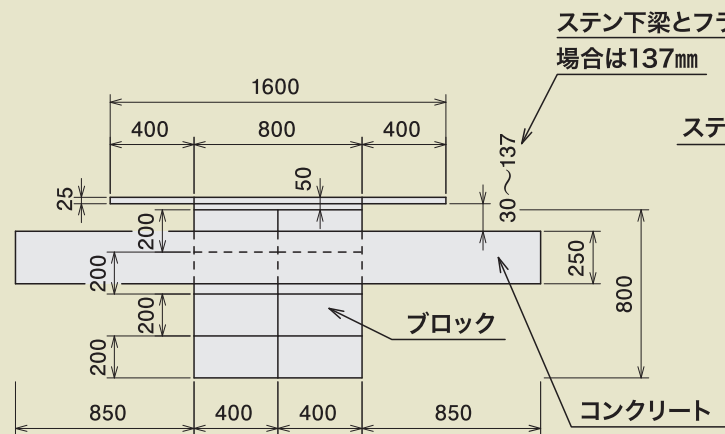
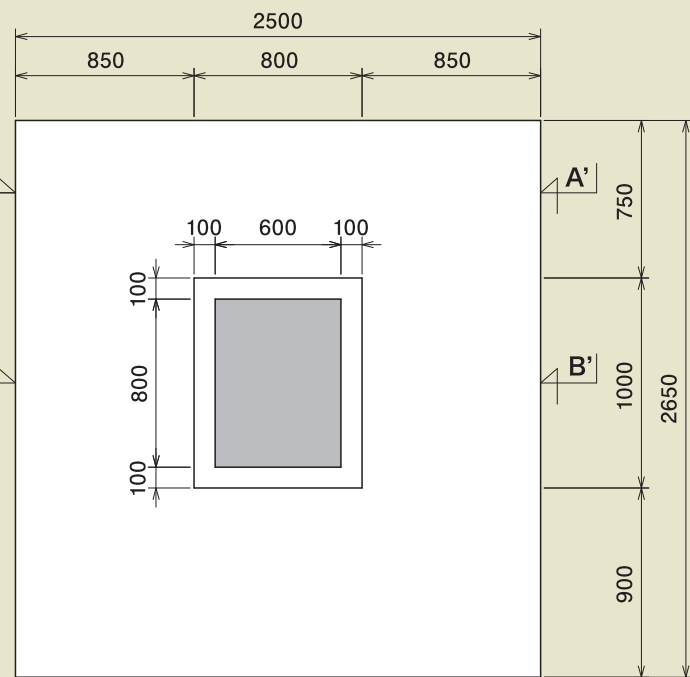




正面

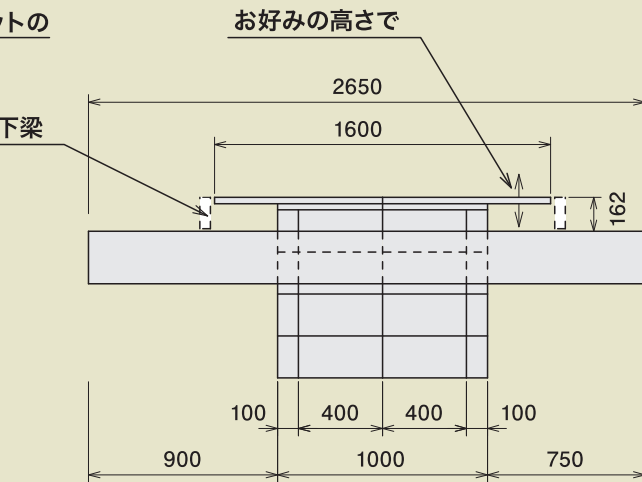
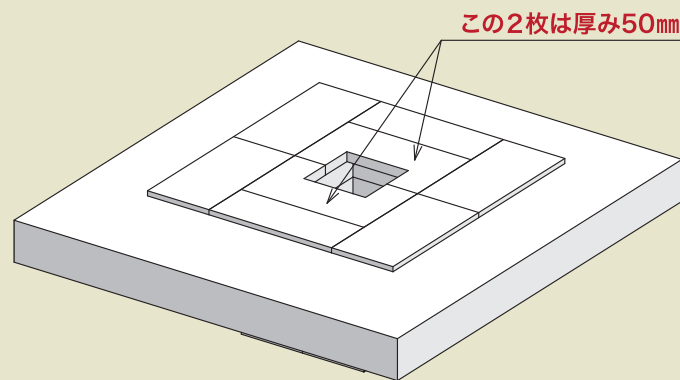


基礎図

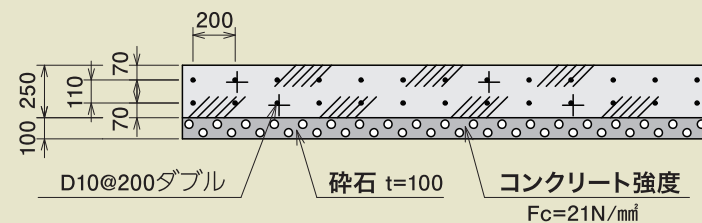


ブロック+コンクリート +貼石施工図 (扉位置が背面の場合)

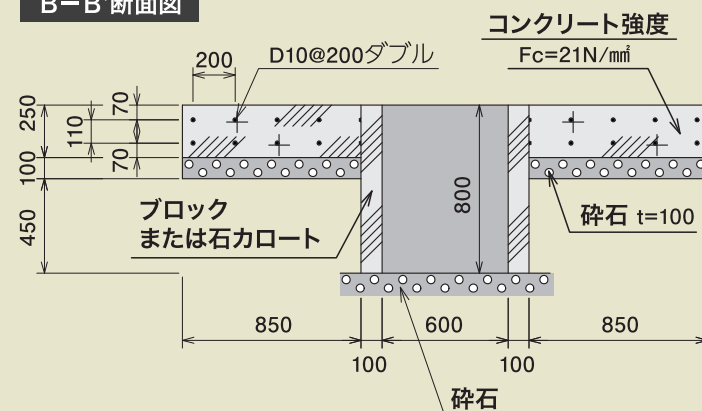
※ 先にフレームを置いて貼石を貼る



A-A'断面図



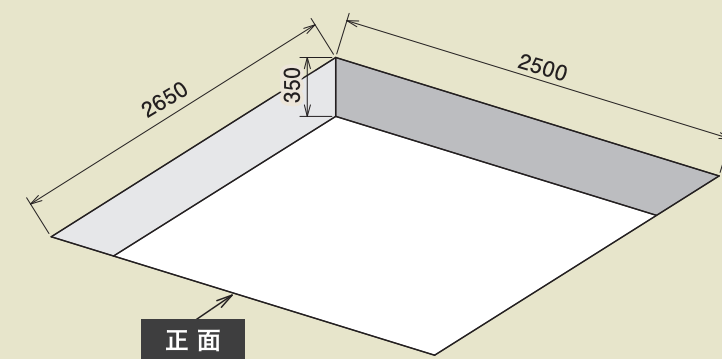
B-B'断面図



SHIN施工手順書 (カロート付) 単位:mm (扉位置が背面の場合)

1 掘削

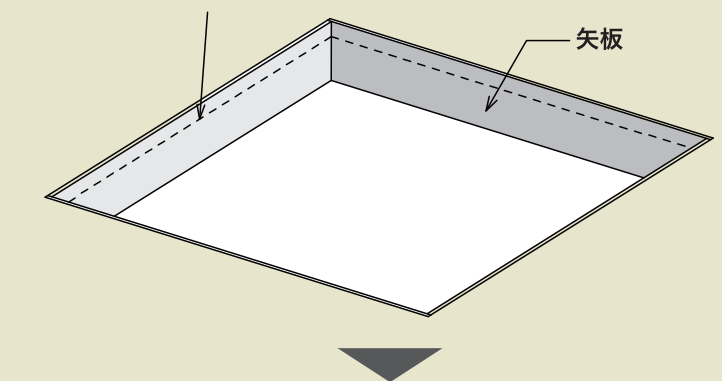
2500mm×2650mm
深さ250mm(基礎)+100mm(砕石)計350mmの
根切り(掘削)をします。



2 土留工

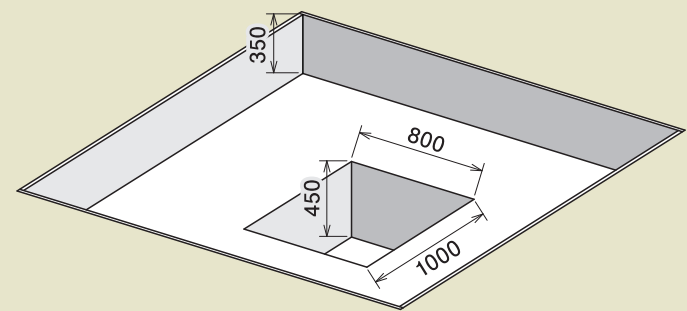
根切り側面が崩落しそうであれば矢板を組みます。
(崩落したままですと、天面のレベルが出ない可能性があります。)

コンクリート天面を線引きすると、きれいに仕上がります。



3 地下カロートの場合

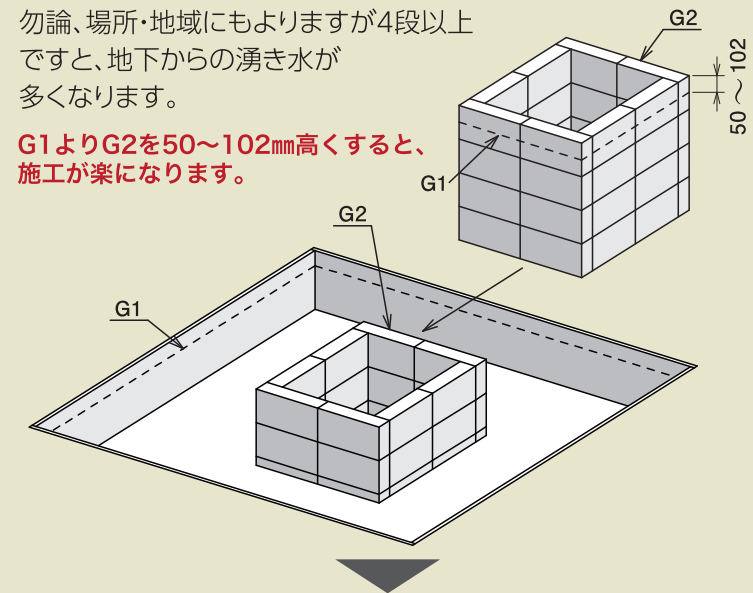
地下カロートを設置の場合、下図の様に基礎に
幅800mm×奥1000mm×深さ450mmの空間を設けます。
(位置は別紙参照)



4 カロート設置

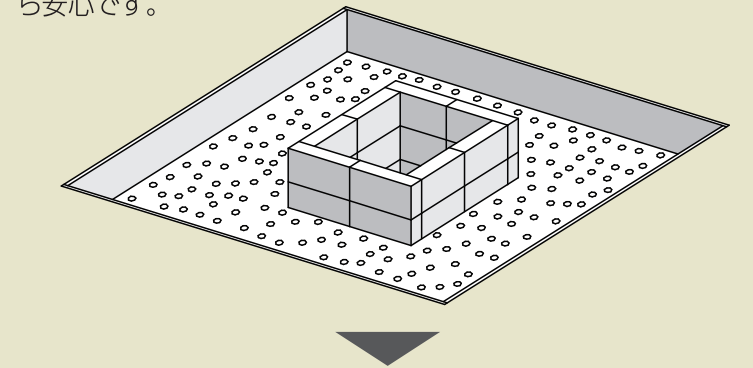
下記の様にブロック4段の施工が楽だと思います。
勿論、場所・地域にもよりますが4段以上
ですと、地下からの湧き水が
多くなります。

G1よりG2を50~102mm高くすると、
施工が楽になります。



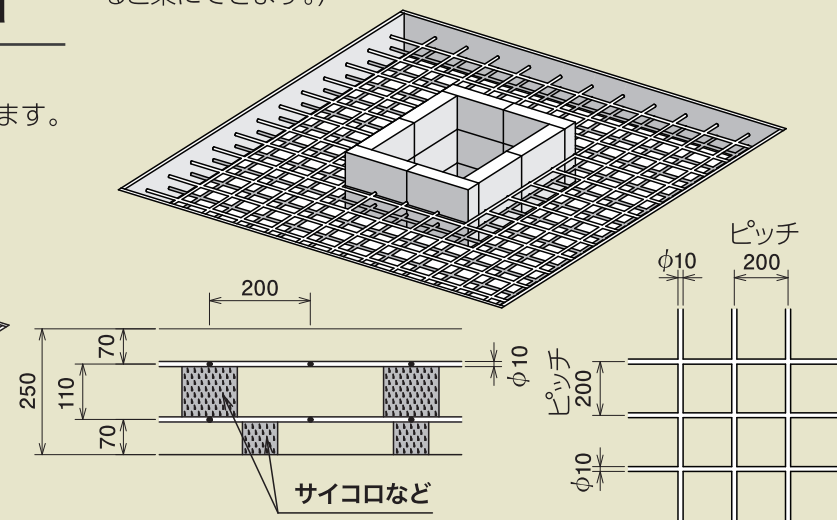
5 砕石敷設

転圧後砕石を厚み100mmで敷設後、再転圧。
砕石は安価なもの(30~40mmサイズ)で大丈夫です。砕石の
必要量は0.7m³です。ロスや締め込みを考慮して0.8m³用意頂けたら
安心です。



6 鉄筋

10mmの鉄筋を200mmピッチ。60~70mmの上下間隔でダ
ブルで組みます。防湿シートの必要はありませんが、より丁寧
には見えます。(縦配筋が難しい場合は、サイコロ等で高さ調整
すると楽にできます。)



7 コンクリート打設

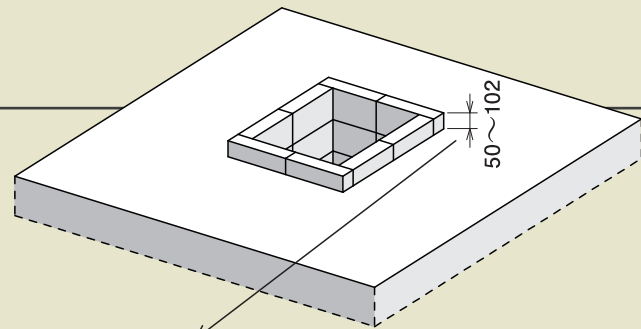
コンクリートの打設です。

■コンクリート使用量

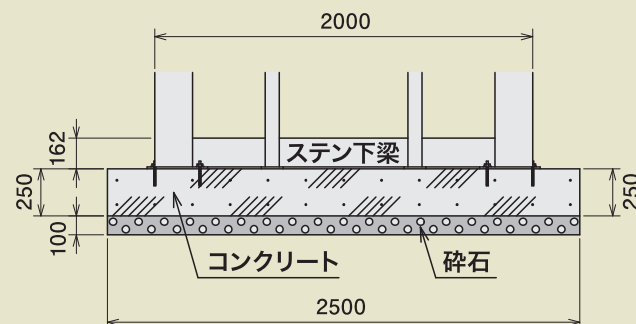
カロート無し／1.65㎡・カロート付／1.45㎡

■発注時は1.15倍する事をおすすめします。

×1.15倍 カロート無し／1.90㎡・カロート付／1.66㎡



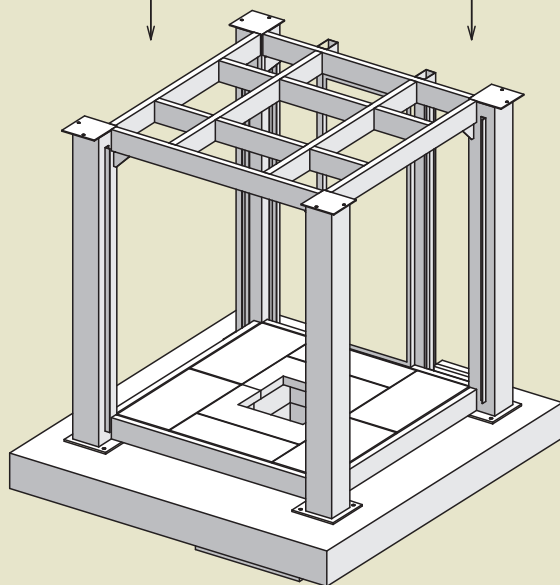
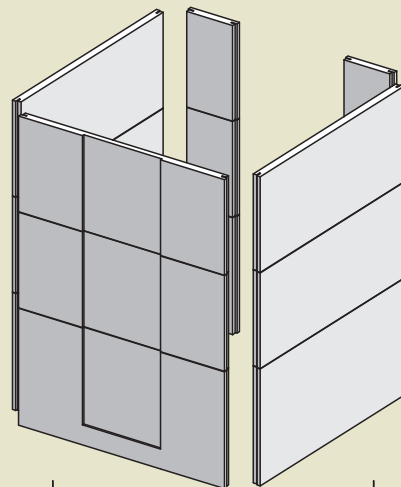
フロア高によって高さが決まる。(フロア天から-60mm)



10 壁石

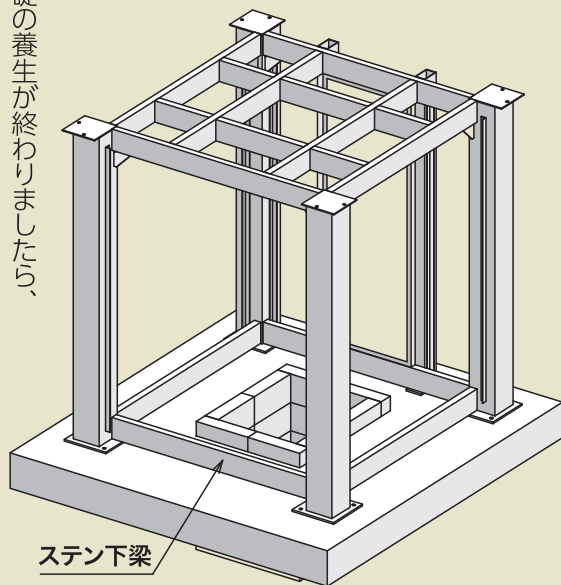
壁石を柱と柱の間に差し込みます。

※この時、石材の天場がステンレスフレームより上がらないことを確認して下さい。



8 ステンレスフレーム固定

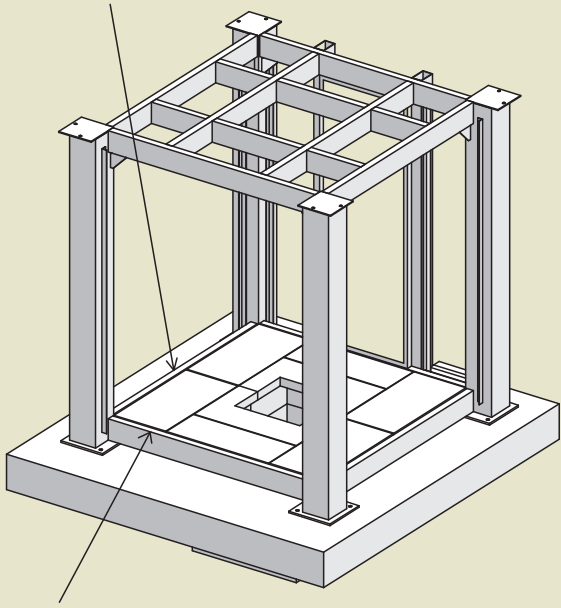
基礎の養生が終わりましたら、ステンレスフレームを決まった扉位置で設置して、ショックドリルでφ17mmのキリで8ヶ所穴をあけφ16mmのアンカーボルトで固定して頂きます。SH-1Nは施工時の安全も配慮されておりますので、耐震用ピンなどはありません。吊り荷の下に手を入れなくて済むように設計しております。



9 内部貼石

内部貼石を敷きます。(屋根をのせた後でもよいです) 扉から棚が搬入できれば、貼石はどのタイミングでもOKです。扉から棚が入らない場合は、先に貼石を仕上げます。

カロート付はステン下梁と面一。
またはステン下梁が見えてもどちらでもよいが、
ステン下梁が見えた方が広く感じる。
(ですが、面一の方を推薦)

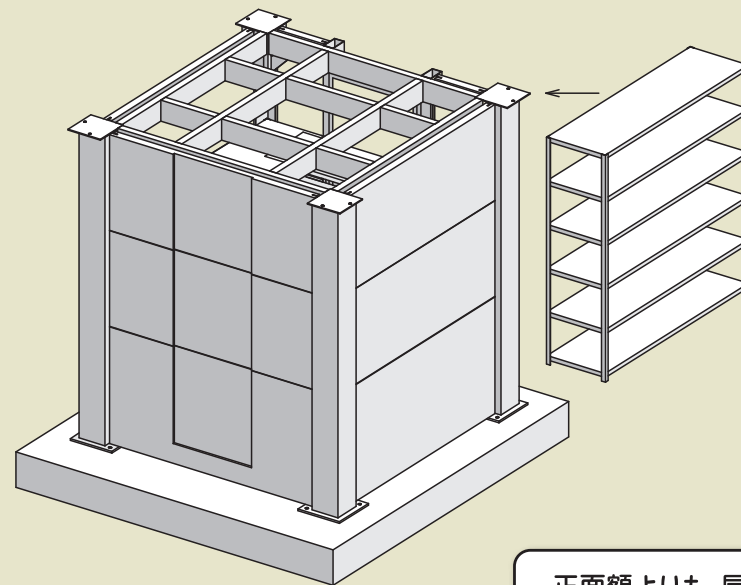


カロート無しは、貼石とステン下梁を面一にする。(理由:水が溜まる為)

11 ステンレス棚

ステンレス棚を入れます。(先に左右の棚を中に入れ、正面の棚板を左右の棚に渡して、はめ込みます。)

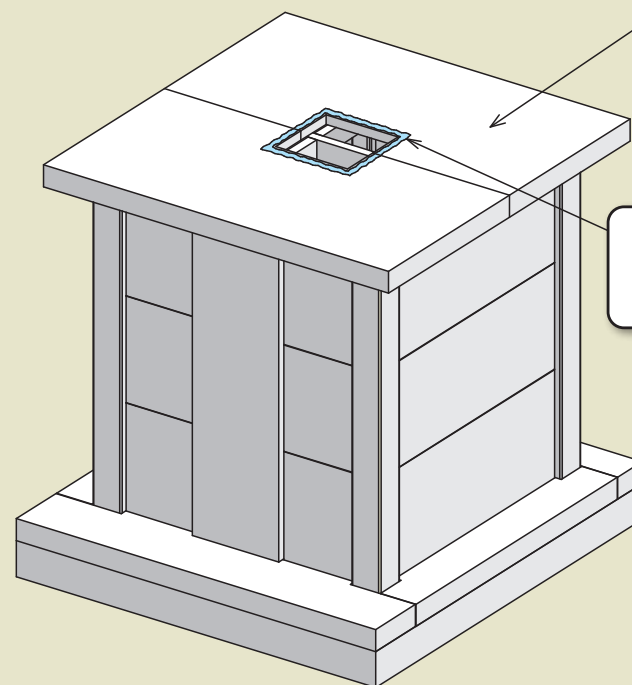
※注:扉から棚は入りますが、壁ぎわからの距離がなければ、横板を1ヶ所空けておいて下さい。



正面額よりも、屋根石を先にすると、
正面額の高さの調整がしやすいです。
また逆に、正面額が先だと
クレーンは吊りやすいです。

13 屋根石

屋根石をのせて、位置決めをして下からショックドリルφ10.5mmで上に向かって8ヶ所穴をあけ、φ10mmのアンカーボルトで固定後、袋ナットに取り換えます。この時のコーキング防水はしっかり施工して下さい。



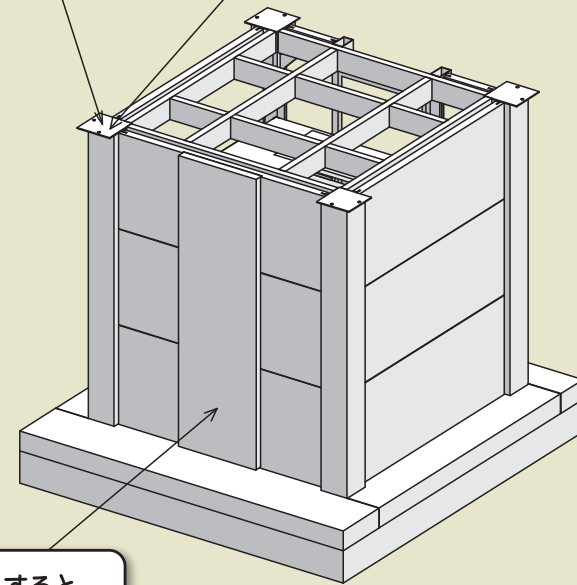
コーキングを
しっかりと

12 根巻石

根巻石を巻き、ステンレスプレートを隠します。
正面額を入れます。

天板がネジれるケースがある。
そのときは3mm程度のシリコン
シートを貼りつけて調整する。

このプレートの上にコーキングを
入れると動かしやすいです。
(高さの調整をする場合は、必ずス
テンプレート又はステンレスパイ
プの上で調整して下さい)



14 天窓

天窓をのせ、ステンレス平板を貼り、前物を据え付けます。

完成

ステンレス平板を目地上から
コーキングで貼り付けます。

